

2020年3月期

通期決算補足資料

株式会社イントランス（3237）

東証マザーズ市場上場
証券コード 3237



2020年3月期 通期業績 (2019/4~2020/3)

保有する販売用不動産の売却活動を継続的に行ったものの、2020年3月期においては2件の売却に留まる。また、2020年3月期中に決済を予定していた案件(信託受益権)が2020年5月決済※となったことから、減収減益となる。

※ 2020年5月29日リリースのとおり、新型コロナウイルス感染症の終息及び影響が不透明であることを背景として、買主側において当該信託受益権の売買契約に係わる資金調達が不調となったことにより、当該売買契約の履行に至らず。

(単位：百万円)	2019年3月期	2020年3月期	対前年増減額	対前年増減率
売上高	2,752	1,174	▲1,578	▲57.3%
営業利益	375	▲931	▲1,307	—
経常利益	367	▲973	▲1,340	—
当期純利益	55	▲1,013	▲1,069	—

2020年3月期 要約損益計算書 (2019/4~2020/3)

(単位：百万円)

	2019/3	2020/3	前年同期 増減額
売上高	2,752	1,174	▲1,578
プリンシパルインベストメント事業	2,103	587	▲1,516
ソリューション事業	462	395	▲66
大多喜ハーブガーデン	186	191	4
売上原価	1,707	1,121	▲585
プリンシパルインベストメント事業	1,370	791	▲579
ソリューション事業	247	242	▲5
大多喜ハーブガーデン	88	88	▲0
売上総利益	1,045	52	▲993
販管費	669	984	314
営業利益	375	▲931	▲1,307
経常利益	367	▲973	▲1,340
当期純利益	55	▲1,013	▲1,069

【2020年との対比コメント】

販売用不動産の引き渡しに2件に留まる

蓮田ショッピングセンター売却による賃料収入等の減少

昨年の台風15号及び新型コロナウイルスの影響を大きく受けるも、前半における入園者数の増加により増収

東京都新宿区に所在する販売用不動産の売却損および期末在庫の評価損を計上

販売用不動産取得、M&A検討に係るデューデリジェンス費用、横丁施設開業に伴う業務委託料、貸倒引当金等を計上

2020年3月期 要約貸借対照表

(単位：百万円)

	2019年 3月末	2020年 3月末	増減
【資産合計】	5,069	4,027	▲ 1,042
(流動資産)	4,917	3,999	▲ 918
現金及び預金	2,095	819	▲ 1,276
販売用不動産	2,268	2,615	346
その他	455	564	11
(固定資産)	151	28	▲ 123
有形固定資産	18	5	▲ 12
無形固定資産	0	0	0
投資その他の資産	133	22	▲ 110
負債合計	2,058	2,017	▲ 41
(流動負債)	866	806	▲ 60
短期借入金	500	274	▲ 225
1年内返済予定長期借入金	65	215	150
その他	300	316	15
(固定負債)	1,192	1,211	18
長期借入金	1,192	1,203	11
その他	—	7	7
純資産合計	3,011	2,010	▲ 1,000
自己資本比率 (%)	59.4	49.6	—

【2019/3末との対比コメント】

インバウンド関連案件を取得

販売用不動産売却に伴う減少

販売用不動産取得に伴う資金借入

利益剰余金の減少

不動産売買契約の解除（和歌山マリーナシティ、大阪長堀橋）

① 和歌山マリーナシティ（信託受益権）の売却

- ・ 2020年3月26日 売買契約の締結（2020年5月29日決済予定）



- ・ 2020年5月29日
⇒ 新型コロナウイルス感染症の終息及び影響が不透明であることを背景として、買主側において当該売買契約に係わる資金調達が不調となったことにより、売買契約の履行に至らず。

② 大阪長堀橋 宿泊施設の取得

- ・ 2019年7月30日 売買契約の締結（2020年5月31日決済予定）



- ・ 2020年5月29日
⇒ 新型コロナウイルスの感染拡大及び感染影響の長期化に伴い、開業後において、当初想定していた期待利回りが見込めない状況にあることから、今後のインバウンドビジネスの環境変化を総合的に判断した結果、売買契約を合意解約。

2021年3月期業績予想

既存販売用不動産を早期に売却することで投下資本の回収を図り、安定した財務基盤の構築に努めるとともに、インバウンド需要の回復を見据えたイントランスグループ連携によるインバウンド送客、及び中国人富裕層を中心とした不動産投資家への販売を注力。

(単位：百万円)	2020年3月期	2021年3月期	対前年増減額	対前年増減率
売上高	1,174	3,500	2,325	198.0%
営業利益	▲931	400	1,331	—
経常利益	▲973	150	1,123	—
当期純利益	▲1,013	120	1,133	—